

【岩森集落での成功事例とその影響】

亀山市川崎地区の岩森集落では、隣接する城北地区と同じサル群れが行動域を広げて昨年からの被害が大きくなり始めました。そこで普及センターでは、市役所、亀山サルの会とともに、研修会を行いました。最初は、捕獲等の要望が若干あったものの、集落ぐるみの被害対策の意義について参加者の一定の理解が得られ、自治会長のリーダーシップにより、追い払い体制をつくることになりました。

その後速やかに、集落内で追い払い組織と連絡網ができ、集落の境界付近でサル群れの追い返しに成功することができました。こうした動きがあった後、2回目の集落研修会の場で、追い払い実施のポイントを説明しながら、集落ぐるみの取組が獣害対策の成否のカギであることを理解していただいた結果、アンケート調査を行い被害状況把握と取組成果の確認をしながら効果的な被害防止対策を集落ぐるみで継続して行えるようになりました。

当地区はほかの集落や山林から（水田と茶畑等により）隔てられた位置にあり、群れの集落内へ侵入する際の経路が限られています。このため、周辺の他の集落とは異なり追い払いによって、群れを集落内に入れないようにして被害を防止することが比較的容易な場所に立地していましたが、岩森集落の成功事例は対策に行き詰まっていた隣の城北地区の住民の意識に一石を投じることになりました。

